

2021 年度 卒業時調査結果と年度間比較報告書

2022 年 9 月

IR 委員会/教育・学修支援センター

目次

1. 調査の概要	1
2. 所属の学科・専攻への満足度	3
3. 共通教育	3
4. 専門課程の教育	4
5. 外国語教育	4
6. 情報教育	5
7. キャリア教育	5
8. ゼミ・演習	6
9. 学内の施設への満足度	6
10. 在学中に取得した資格	7
11. 在学中に満足のいく活動ができたこと	11
12. 身近に所属学科・専攻への進学希望者がいる場合、進学を勧めたいと思うか	12
13. まとめ	12

1. 調査の概要

本報告書は、大阪大谷大学における 2022 年 3 月期(2021 年 9 月末卒業生を含む)の卒業生を対象として、本学に対する満足度を把握するために実施したアンケートの結果を集計したものである。調査は、卒業判定の結果卒業が確定した学生を、本学の LMS である moodle 上に設置した各学科別の「卒業時調査」のコースに登録して、随時回答を求める方法で回収した。締め切りは 3 月 18 日(9 月期卒業生は 9 月 29 日)までとした。

回収結果

	回答者数 (人)	卒業者数 (人)	回答率 (%)	2020 年度 回答率
日本語日本文学科	45	49	91.8	92.9
歴史文化学科	48	49	98.0	95.2
教育学科 幼児教育専攻	105	126	83.3	90.6
教育学科 学校教育専攻	73	84	86.9	98.7
教育学科 特別支援教育専攻	32	33	97.0	100
人間社会学科	78	78	100	97.4
スポーツ健康学科	103	105	98.1	99.1
薬学科	123	123	100	93.7
全体	607	647	93.8	95.5

今年度も昨年度に引き続き、各々の役割分担を調査実施前から実施中にかけて密に確認するとともに、センターを中心とした支援体制を構築するといった、IR 委員とゼミ担当の教員間での督促に関する連携が比較的うまく機能した。このことから、2つの学科で10割、全体としても9割を超える高い回答率を得ることができた。

※表 2～10 について

- ・各数値の単位は%であり、小数第 1 位を四捨五入して整数値で表した。なお、「わからない」と回答したものについては集計から除外したため、合計が 100%に達しないことがある。

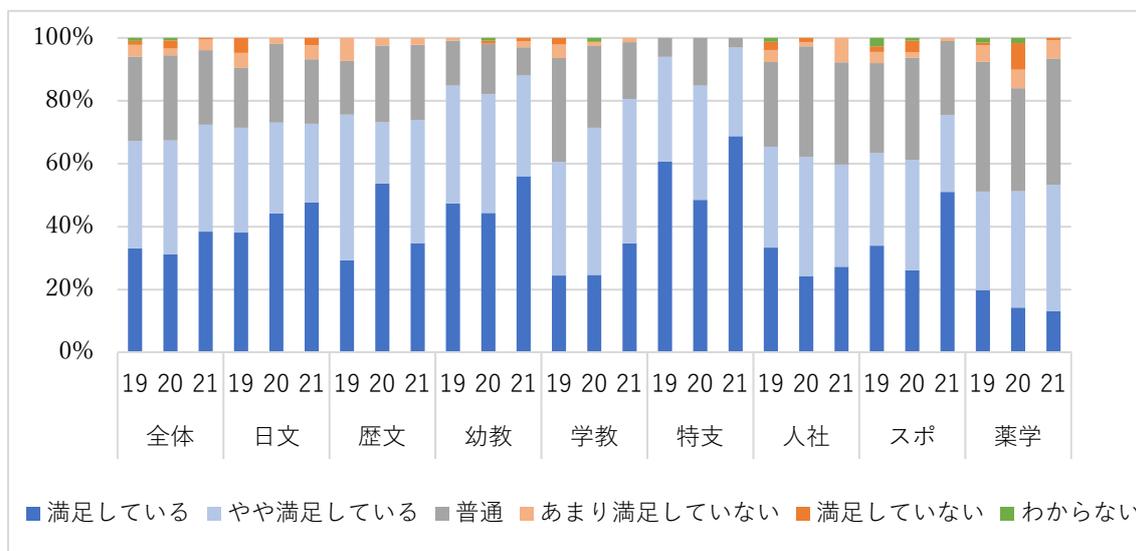
〈学科・専攻 の表記について〉

- ・日本語日本文学科 ⇒ 「日文」
- ・歴史文化学科 ⇒ 「歴文」
- ・教育学科 幼児教育専攻 ⇒ 「幼教」
- ・教育学科 学校教育専攻 ⇒ 「学教」
- ・教育学科 特別支援教育専攻 ⇒ 「特支」
- ・人間社会学科 ⇒ 「人社」
- ・スポーツ健康学科 ⇒ 「スポ」
- ・薬学科 ⇒ 「薬」

〈満足・普通・不満足・その他 の表記について〉

- ・満足している+やや満足している ⇒ 「満足」
- ・普通 ⇒ 「普通」
- ・あまり満足していない+満足していない ⇒ 「不満足」

2. 所属の学科・専攻への満足度



【考察】

- ・2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多くの学科・専攻で満足群が減ったが、今年度は大半の学科・専攻が増加に転じ、全体的として昨年度と比べ+5%となった。
- ・特支は特に満足度が高く満足群だけで 97%あり、不満足群は 0%であった。

3. 共通教育

	2021			2020			2019		
	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	57	34	9	62	35	4	43	48	10
歴文	65	33	2	71	17	12	59	32	7
幼教	68	31	2	74	23	3	71	27	2
学教	63	36	1	55	38	6	63	30	7
特支	69	25	6	55	39	6	70	30	0
人社	55	38	8	51	45	3	46	42	10
スポ	66	32	2	54	41	5	62	31	5
薬	35	51	14	34	45	20	34	53	11
全体	56	36	6	55	36	8	55	37	7

【考察】

- ・3年間の推移をみると、満足群が概ね6割に達し、普通群と合わせると9割を超える。

4. 専門課程の教育

	2021			2020			2019		
	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	75	23	2	73	23	2	67	24	10
歴文	87	13	0	88	12	0	68	29	2
幼教	89	10	1	84	14	1	88	10	3
学教	79	17	4	71	25	3	64	28	7
特支	97	0	3	82	18	0	94	6	0
人社	73	23	4	68	30	3	67	28	0
スポ	74	26	0	64	31	5	71	28	0
薬	49	43	8	53	34	10	55	38	5
全体	74	23	3	70	25	4	70	26	3

【考察】

・2020 年度に引き続き、いずれの学科も満足度が高く、多くの学科・専攻で満足群と普通群でほぼ 95%を超える。

5. 外国語教育

	2021			2020			2019		
	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	34	52	14	46	42	10	38	52	10
歴文	46	28	26	44	39	17	44	34	20
幼教	51	36	12	48	42	8	42	41	16
学教	46	44	10	39	48	12	38	37	22
特支	31	63	6	33	48	15	39	45	15
人社	40	40	20	34	55	9	41	36	21
スポ	47	45	8	36	45	15	51	34	13
薬	20	58	22	13	52	27	19	41	25
全体	39	46	15	35	47	15	40	39	19

【考察】

・2019 年度から連続して全体の「満足」が 50%に達していない。一方で、「満足」と「普通」を合わせると歴文と薬学を除く全ての学科で 8 割以上となっている。

6. 情報教育

	2021			2020			2019		
	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	50	36	14	52	38	10	52	43	5
歴文	41	37	22	46	37	17	44	29	24
幼教	58	31	11	52	40	5	48	45	5
学教	32	44	24	36	52	9	37	47	14
特支	34	56	9	39	42	18	39	52	6
人社	49	36	14	51	43	5	49	44	6
スポ	54	41	5	40	47	12	52	38	8
薬	25	64	12	23	47	23	21	55	17
全体	43	44	13	41	44	12	41	45	11

【考察】

・昨年度から微増したものの、依然として全体の「満足」が40%程度にとどまっている。一方で、「満足」と「普通」を合わせると歴文と学教を除く全ての学科で8割以上となっている。

7. キャリア教育

	2021			2020			2019		
	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	34	59	7	37	25	0	38	33	0
歴文	48	44	9	34	42	2	44	32	7
幼教	55	39	6	—	—	—	—	—	—
学教	53	31	17	—	—	—	—	—	—
特支	50	41	9	—	—	—	—	—	—
人社	53	34	13	—	—	—	—	—	—
スポ	60	35	5	—	—	—	—	—	—
薬	25	59	16	—	—	—	—	—	—
全体	47	43	10	—	—	—	—	—	—

※本項目は2020年度まで、日文と歴文のみに設置していた項目である

【考察】

・本項目は2020年度まで日文と歴文にのみ設置されていたが今年度より全ての学科・専攻での調査項目となった。

・「満足」はスポでやや高いが、他の学科・専攻では25～55とバラつきがある。

8. ゼミ・演習

	2021			2020			2019		
	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	89	7	5	81	17	2	81	10	10
歴文	91	4	4	83	15	2	88	10	2
幼教	77	18	5	88	8	3	89	9	2
学教	80	17	4	68	27	4	73	19	7
特支	84	16	0	88	9	3	91	9	0
人社	78	21	1	80	19	1	77	21	0
スポ	81	14	5	76	21	4	84	12	4
薬	68	27	5	64	29	6	76	19	5
全体	79	17	4	77	20	3	81	15	4

【考察】

・2020 年度に引き続き、いずれの学科も満足度は高止まりの傾向にあり、「満足」と「普通」を合わせると全ての学科・専攻で 95%に達する。

9. 学内の施設への満足度

	2021			2020(※参考)			2019(※参考)		
	満足	どちらとも いえない	不満足	満足	普通	不満足	満足	普通	不満足
日文	48	30	22	60	19	19	43	29	29
歴文	59	24	17	56	37	7	59	24	15
幼教	45	29	27	55	33	7	62	32	4
学教	42	21	36	44	40	14	46	38	13
特支	56	28	16	48	33	18	58	33	9
人社	42	21	38	34	50	15	55	32	10
スポ	43	37	20	51	39	8	53	31	13
薬	43	33	25	34	37	27	49	31	19
全体	45	29	26	46	37	15	53	32	13

※2020 年度までは「学習環境」への満足度

【考察】

・本項目は今年度より新たに設置したものである。上記の表の 2020、2019 部分は「学習環境」への満足度についての回答を参考値として掲載している。

・「満足」については 5 割周辺、「普通」と合わせても 8 割に達しなかった。

10. 在学中に取得した資格(2021年度) ※複数回答可

日文	
中学校教員免許(国語)	18
高校教員免許(国語)	18
高校教員免許(書道)	5
図書館司書資格	36
学校図書館司書教諭資格	7
学校司書資格	22
社会教育主事任用資格	7
社会福祉主事任用資格	0
学芸員資格	2
英検 準1級以上	0
英検 2級	0
英検 準2級以下	0
TOEIC 600点以上	0
TOEIC 500点～595点	0
TOEIC 495点以下	0
TOEFL(iBT) 61点以上	0
TOEFL(iBT) 46点～60点	0
TOEFL(iBT) 45点以下	0
IELTS 5.5以上	0
IELTS 4.5～5.0	0
IELTS 4.0以下	0
特にない	43
その他	5

歴文	
中学校教員免許(社会)	28
高校教員免許(地理・歴史)	26
図書館司書資格	13
学校図書館司書教諭資格	0
学校司書資格	2
社会教育主事任用資格	4
社会福祉主事任用資格	2
学芸員資格	35
英検 準1級以上	0
英検 2級	0
英検 準2級以下	0
TOEIC 600点以上	0
TOEIC 500点～595点	2
TOEIC 495点以下	4
TOEFL(iBT) 61点以上	0
TOEFL(iBT) 46点～60点	0
TOEFL(iBT) 45点以下	0
IELTS 5.5以上	0
IELTS 4.5～5.0	0
IELTS 4.0以下	0
特にない	37
その他	4

幼教	
幼稚園教員免許	95
保育士資格	88
小学校教員免許	62
特別支援学校教員免許	0
図書館司書資格	1
学校図書館司書教諭資格	1
学校司書資格	4
社会教育主事任用資格	0
社会福祉主事任用資格	3
学芸員資格	0
英検 準 1 級以上	0
英検 2 級	1
英検 準 2 級以下	1
TOEIC 600 点以上	0
TOEIC 500 点～595 点	0
TOEIC 495 点以下	0
TOEFL(iBT) 61 点以上	0
TOEFL(iBT) 46 点～60 点	0
TOEFL(iBT) 45 点以下	0
IELTS 5.5 以上	0
IELTS 4.5～5.0	0
IELTS 4.0 以下	0
特にない	3
その他	9

学教	
小学校教員免許	71
中学校教員免許(国語)	31
中学校教員免許(英語)	2
高校教員免許(国語)	26
高校教員免許(英語)	21
特別支援学校教員免許	33
幼稚園教員免許	3
図書館司書資格	7
学校図書館司書教諭資格	11
学校司書資格	4
社会教育主事任用資格	1
社会福祉主事任用資格	6
学芸員資格	0
英検 準 1 級以上	0
英検 2 級	3
英検 準 2 級以下	3
TOEIC 600 点以上	3
TOEIC 500 点～595 点	8
TOEIC 495 点以下	4
TOEFL(iBT) 61 点以上	0
TOEFL(iBT) 46 点～60 点	0
TOEFL(iBT) 45 点以下	0
IELTS 5.5 以上	0
IELTS 4.5～5.0	0
IELTS 4.0 以下	0
漢検 準 1 級以上	0
漢検 2 級	3
漢検 準 2 級以下	0
特にない	3
その他	4

特支	
特別支援学校教員免許	100
小学校教員免許	81
中学校教員免許(英語)	19
中学校教員免許(国語)	0
高校教員免許(国語)	19
高校教員免許(英語)	0
幼稚園教員免許	34
図書館司書資格	3
学校図書館司書教諭資格	25
学校司書資格	0
社会教育主事任用資格	3
社会福祉主事任用資格	25
学芸員資格	0
英検 準1級以上	0
英検 2級	0
英検 準2級以下	0
TOEIC 600点以上	0
TOEIC 500点～595点	0
TOEIC 495点以下	0
TOEFL(iBT) 61点以上	0
TOEFL(iBT) 46点～60点	0
TOEFL(iBT) 45点以下	0
IELTS 5.5以上	0
IELTS 4.5～5.0	0
IELTS 4.0以下	0
特にない	0
その他	3

人社	
中学校教員免許(社会)	13
高校教員免許(公民)	10
高校教員免許(福祉)	0
社会福祉士	14
スクールソーシャルワーカー	0
認定心理士	3
認定心理士(心理調査)	0
カウンセリング実務士	3
英検 準1級以上	0
英検 2級	0
英検 準2級以下	0
TOEIC 600点以上	0
TOEIC 500点～595点	0
TOEIC 495点以下	7
TOEFL(iBT) 61点以上	0
TOEFL(iBT) 46点～60点	0
TOEFL(iBT) 45点以下	0
IELTS (4.0以下～5.5以上)	0
日商簿記	4
ファイナンシャルプランニング技能士	14
医療管理秘書士	25
保健医療ソーシャルワーカー	21
図書館司書資格	3
学校図書館司書教諭資格	0
学校司書資格	1
学芸員	0
社会教育主事任用資格	3
社会福祉主事任用資格	14
公認スポーツ指導者	4
初級障がい者スポーツ指導員	0
特にない	40
その他	12

スポ	
中学校教員免許(保健体育)	37
高校教員免許(保健体育)	38
公認スポーツ指導者・ 競技別指導者	35
健康運動指導士・ 健康運動実践指導者	12
フードスペシャリスト資格	1
専門フードスペシャリスト資格	0
医療管理秘書士	10
保健医療ソーシャルワーカー	5
図書館司書資格	1
学校図書館司書教諭資格	0
学校司書資格	0
社会教育主事任用資格	0
社会福祉主事任用資格	0
学芸員資格	9
英検 準1級以上	0
英検 2級	1
英検 準2級以下	0
TOEIC 600点以上	1
TOEIC 500点～595点	0
TOEIC 495点以下	1
TOEFL(iBT) 61点以上	0
TOEFL(iBT) 46点～60点	0
TOEFL(iBT) 45点以下	0
IELTS 5.5以上	0
IELTS 4.5～5.0	1
IELTS 4.0以下	0
特になし	35
その他	5

薬	
薬剤師国家試験受験資格	83
健康食品管理士認定試験受験資格	1
NR・サプリメントアドバイザー 認定試験受験資格	23
英検 準1級以上	0
英検 2級	0
英検 準2級以下	0
TOEIC 600点以上	0
TOEIC 500点～595点	1
TOEIC 495点以下	1
TOEFL(iBT) 61点以上	0
TOEFL(iBT) 46点～60点	0
TOEFL(iBT) 45点以下	0
IELTS 5.5以上	0
IELTS 4.5～5.0	0
IELTS 4.0以下	0
特になし	14
その他	3

【考察】

・今年度より全ての学科・専攻で在学中に取得した資格や認定についての項目を設置した。

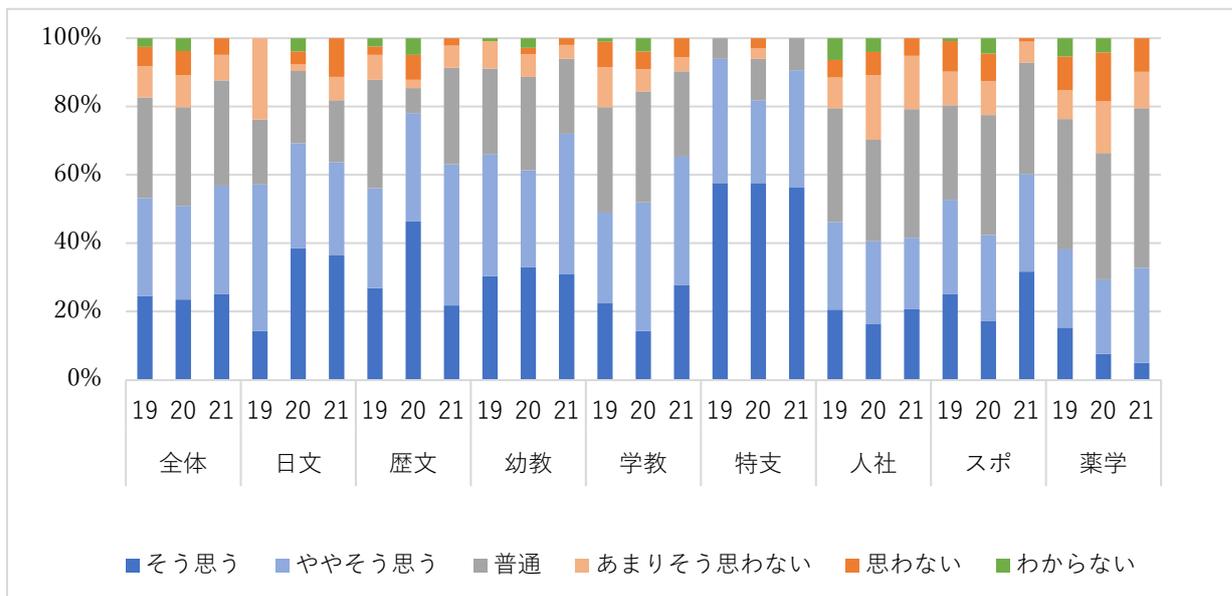
11. 在学中に満足のいく活動ができたこと(2022年度) ※複数回答可

2021年度	日文	歴文	幼教	学教	特支	人社	スポ ^o	薬	全体
資格・免許の取得	52	41	86	78	81	33	54	48	57
教員採用試験・公務員試験・ 国家資格試験の勉強	14	7	13	44	56	13	14	36	23
専門分野の知識・理解を深める	63	57	54	43	50	46	41	43	46
幅広い教養・ものの見方を 身につける	36	35	24	35	25	35	26	22	28
有意義な人間関係	32	24	31	30	25	31	26	26	27
部活・サークル活動	25	26	30	25	56	27	53	13	29
語学の取得	2	7	4	13	0	4	4	0	4
趣味やアルバイト	50	48	35	35	28	43	31	20	33
ボランティア	5	11	10	31	31	12	4	2	10
インターンシップ等	9	2	10	21	28	10	4	3	9
海外留学・研修	5	2	3	1	0	4	2	2	2

【考察】

- ・今年度より在学中に満足のいく活動ができたことは何かを問う項目を設置した。
- ・教育学科3専攻はいずれも資格・免許の取得に関する満足度が高い。
- ・部活やサークル活動については特支とスポが特に高く、ボランティアに関しては学教と特支が特に高い。

12. 身近に所属学科・専攻への進学希望者がいる場合、進学を勧めたいと思うか



【考察】

- ・日文と歴文を除く全ての学科・専攻で昨年度より「そう思う」・「ややそう思う」が増加した。なお、減少したものの日文は 64%、歴文は 63%と高い水準は維持している。
- ・全体としては「そう思う」・「ややそう思う」が 57%と昨年度より+6%となった。
- ・特支は「そう思う」が 56%、「ややそう思う」が 34%と、肯定的な回答の割合が非常に高くなった。
- ・薬学は昨年度肯定的な回答が落ち込んだものの、今年度より回復の兆しを見せている。

13. まとめ

本調査における満足群＋普通群の経年変化を概観すると、昨年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少した項目について、今年度はほぼ全てで増加が見られる。また、一部の項目については過去 3 年間で最高となるものもあった。

回収率について、今年度は昨年度を若干下回ったものの、各学科・専攻の IR 委員とゼミ・アドバイザー教員の協力によって、全体で 93.8%という高い回答率を維持することができた。これは、IR 委員から各学科の教員に対して未回答者リストを提供したことでターゲットを絞った回答督促ができたことに加え、moodle の機能を用いて未回答者に対して個別督促メールを送信したことも有効であったと考えられる。また、上記の取り組みを教育・学修支援センターが実施している他の調査(新入生調査・学修行動調査)においても、複数年に渡って継続していることで、ゼミ・アドバイザー教員たちのみならず、学生の間でも、各種調査の回答率向上に協力しようというマインドが醸成されつつあるからだと考えられる。多くの学生が春休みや就職の準備に入っている時期にもかかわらず高い回収率を複数年に渡って維持していることは、本学の大きな特長であるといえる。

以上